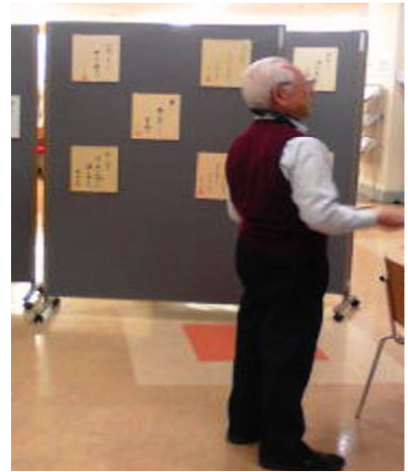


エルプラザで海浜美化パネル展 1年の活動を、写真と標語で紹介



会員による環境問題の勉強会も

「北海道の海を日本一きれいな浜辺にしよう」をスローガンに活動を続けてきたNPO法人北海道海浜美化を進める会の海岸清掃活動。

2009年は6か所の海岸の清掃活動を行った。そうした活動の軌跡をパネル展で紹介しようと、「浜美化パネル展2009」を札幌エルプラザ2階の展示コーナーで12月4日から8日間にわたって開催した。

展示は約5枚の掲示板に活動内容を報告。また、毎回清掃活動後に参加者が創った川柳や短歌、標語約150作を展示。その中から優れた作品30点を色紙で紹介した。その中には、「ゴミ拾い きれいになったら うれしいな」（8歳の女の子）や「ゴミ拾い 拾う手もとも 喜びて」、「夕顔の 埋もれし浜の ゴミの山 我ら拾いて 花よみがえる」といった作品もあり、見学者からは「素直な感情が表現されていてとてもいい」あるいは「こういう活動をしている団体があったとは知らなかった。自分も参加してみたい」といった声があった。

開催期間中、会員の環境に対する意識を高める目的で浜美化勉強会も行った。



講師は同会の理事でもある中根恵美子さんが「ダム建設の是非～二風谷ダム、平取ダムをめぐる」をテーマに1時間ほど語った。参加者は15人だったが、環境と自然そして人為的な自然破壊などについて議論が交わされた。

浜美化パネル展は今年初めての試みで、多くの人に当会の活動を知らせるにはとても有効的で、事務局としては「来年も是非行いたい」と意欲を燃やしている。